

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

506 11-157553

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **11157553 A**

(43) Date of publication of application: **15 . 06 . 99**

(51) Int Cl

**B65D 33/25**

(21) Application number. **09340765**

(71) Applicant. **SANWA KOGYO KK**

(22) Date of filing **25 . 11 . 97**

(72) Inventor: **KAKIMOTO SEIICHI**

(54) **EASY-TO-UNSEAL MECHANISM FOR BAG WITH FASTENER**

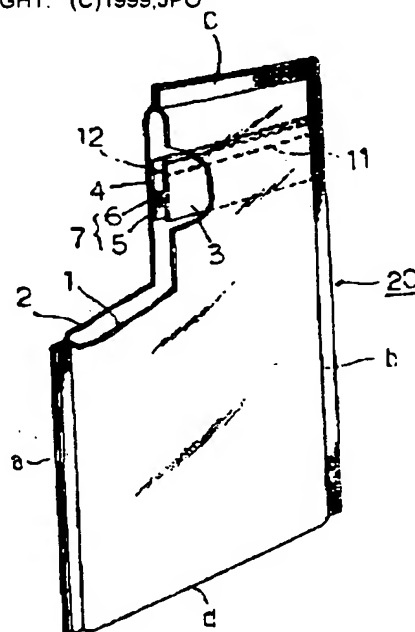
a notch.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO

(57) Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To tear off surface and rear sheets of an opening of a bag body straight for neatly unsealing and to insure easy repetitive unsealing and sealing by cutting perforations oppositely in parallel to a fastener body of female-male fitting integrally molded with a face of a thin strip base piece on a side positioned at a mouth of the bag body.

SOLUTION: A fastener seal 7 comprises a pair of female and male fastener bodies 5, 6 fitting in recess and protrusion which are integrally formed with thin strip base pieces 3, 4, wherein the base pieces 3, 4 are formed to be wide, and perforations 11, 12 are cut on their faces over a full length. The perforations 11, 12 are formed to be straight and opposite so that the base pieces 3, 4 can be easily separated by tearing and ways for tearing can be easily made on sheets 1, 2 of a bag body. Therefore, when a mouth end rim C to be a top seal is to be cut off from the bag body 1 for unsealing, the surface and rear sheets 1, 2 can be torn off straight together with the perforations 11, 12 while being guided by the perforations 11, 12 of the base pieces 3, 4 from



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-157553

(43) 公開日 平成11年(1999) 6月15日

(51) Int.Cl.<sup>5</sup>

B 6 5 D 33/25

識別記号

F I

B 6 5 D 33/25

A

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平9-340765  
(22) 出願日 平成9年(1997)11月25日

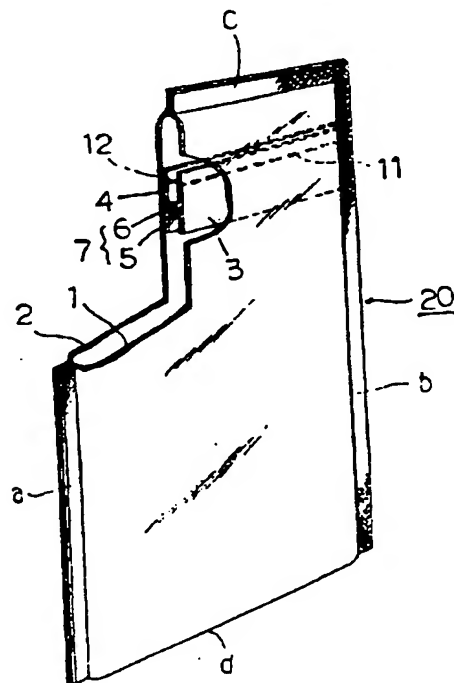
(71) 出願人 596142971  
三和工業株式会社  
香川県善通寺市仙遊町2丁目5番18号  
(72) 発明者 柿本 精一  
香川県善通寺市善通寺町1216-1  
(74) 代理人 弁理士 森脇 康博

(54) 【発明の名称】 チャック付き袋の易開封機構

(57) 【要約】

【目的】 菓子や食品、その他の包装収納用に用いられる合成樹脂からなる単体、又は積層フィルムの袋で反復開封可能な開口部を有するチャック付き袋に易開封を容易且つ正確に可能にしたチャック付き袋において、天シールとチャックとの間の開口部を引き裂きで開口する初期開封を容易に、しかも一直線状にきれいに反復開封を可能とする。

【構成】 袋体の開閉口に位置する側のベース片の面にチャック体と平行又はほぼ平行にミシン切目を相対して切設し、ベース片に切設されたミシン切目に対応する部位の袋体側縁部に引き裂き案内用の切欠き部を設ける。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ラミネートフィルム又はその他の合成樹脂シートよりなる表裏2枚のシート1、2を重ねて左右両側縁a、bと開閉口端縁cの三方を接着して袋体20を形成し、袋体の開閉口端縁の内側に幅のある薄板帯状のベース片3、4と、このベース片の面に一体形成された雌雄嵌合のチャック体5、6とよりなるシールチャック7をベース片の各外面が夫々表シートと裏シートの各内面に個別に面接着するように取付けるとともに、袋体の開閉口に位置する側のベース片の面にチャック体5、6と平行又はほぼ平行にミシン切目11、12を相対して切設してなることを特徴とするチャック付き袋の易開封機構。

【請求項2】 チャックシールのベース片に切設されたミシン切目に対応する部位の袋体側縁部に引き裂き案内用の切欠き部10を設けた請求項1記載のチャック付き袋の易開封機構。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、菓子や食品、その他の包装収納用に用いられる合成樹脂からなる単体、又は積層フィルムの袋で反復開封可能な開口部を有するチャック付き袋に易開封を容易且つ正確に可能にしたチャック付き袋の易開封機構に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 図1～2に示すように熱シール可能なフィルムからなる表裏2枚のシート1、2を重ねて左右両側縁a、bと天シールとなる開閉口端縁cの三方を熱シールにて形成された謂ゆる三方袋からなる袋体20で、反復開封を可能にするために、開閉口端縁の内側に嵌込み構造のチャック7を取付けたチャック付き袋は従来から一般に知られている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 上記した従来のチャック付き袋においては、袋を開封するのに先づ初期開封として天シールcとチャック7との間を開口部にしてこの開口部を側縁部の切欠き部10より引き裂きで開口するものである。

【0004】 しかし、引き裂きで開口する場合、袋本体を構成するフィルムシートの性質や種類、積層の加減等で筋道が不定のため簡単に而も直線状にうまく開封できないという問題点を有していた。

【0005】 本発明は、従来の技術の有するこのような問題点に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、天シールとチャックとの間の開口部を引き裂きで開口する初期開封を容易に、しかも直線状にきれいに反復開封を可能にしたチャック付き袋の易開封機構を提供しようとするものである。

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するために、本発明におけるチャック付き袋の易開封機構は、ラ

ミネートフィルム又はその他の合成樹脂シートよりなる表裏2枚のシート1、2を重ねて左右両側縁a、bと開閉口端縁cの三方を接着して袋体20を形成し、袋体の開閉口端縁の内側に幅のある薄板帯状のベース片3、4と、このベース片の面に一体形成された雌雄嵌合のチャック体5、6とよりなるシールチャック7をベース片の各外面が夫々表シートと裏シートの各内面に個別に面接着するように取付けるとともに、袋体の開閉口に位置する側のベース片の面にチャック体5、6と平行又はほぼ平行にミシン切目11、12を相対して切設してなるものである。

【0006】 また、チャックシールのベース片に切設されたミシン切目に対応する部位の袋体側縁部に引き裂き案内用の切欠き部10を設けたことを特徴としている。

## 【0007】

【実施例】 袋体20は、表裏2枚のシート1、2を重ねて左右両側縁a、bと天シールとなる開閉口端縁cの三方を熱シールで接着することにより形成される。この熱シールの際に、後述するようにチャックシール7を表裏両シート1、2の間に挟み込んで同時に熱シールし三者一体的に接着するものである。

【0008】 底部端縁dは、袋の中に充填物を入れた後に熱シールして密封する。

【0009】 チャックシール7は合成樹脂製の謂ゆる面チャックとして袋物等に広く利用されているもので、図5～7に示すように雌雄一对の凹凸嵌合するシングル又はダブルのチャック体5、6を薄板帯状のベース片3、4に一体形成してなるものであるが、ベース片3、4は広幅に形成してその面に全長に亘りミシン切目11、12を切設する。このミシン切目は引き裂きによりベース片が容易に分離し且つ袋体のシート1、2に引き裂きの筋道がつき易いように一直線に相対向するように形成する。

【0010】 ベース片に切設されたミシン切目11、12に対応する部位の袋体側縁部に引き裂き案内用の切欠き部10を設けるが、この切欠き部10は右又は左の片側又は両方に設ける。また、この切欠き部10の形は稜ノッチ又はVノッチ、或いはUノッチ等の形に加工する。

## 【0011】

【作用】 図8～9は、本発明のチャック付き袋の製袋方法を示し、同図において連続したフィルムシートの材料Fを円筒状に丸めたものから引き出して2つ折りにし、開放側端縁の間にベース片にミシン切目を入れた連続したチャック材料Tを挟むように間欠的に送り込みながらヒートシール部Hにおいて、上下に対向した四足のヒーターHで熱シールし、同時に熱シール仕上り部を冷却水管を挿入した冷却プレートPで冷却する。

【0012】 上下に対向したヒーターH、Hは、チャック5、6部とミシン切目11、12を跨ぐように四足の

ヒート部h 1、h 2、h 3、h 4を有してなるものが用いられる。この四足のヒート部によりチャック及びミシン切目が押しつぶされなくて、且つシート部1、2とベース部3、4の熱シールが局部圧着の加熱により効果的に実施される。又冷却水管Pの使用により低温シールで内面同志の密着を防いで且つ変形の少ない袋仕上げが可能となる。

【0013】熱シールされた材料は仕上り工程を経てさらに三方の熱シールが施された後に最終工程で所要の幅にカットして三方袋が得られる。

【0014】天シールとなる開閉口端縁cを袋体1から切離して開封するには次のようにする。

【0015】先づ側縁部の切欠き部10を通常の方法により手で引き裂いて切除する。切欠き部10は袋の生地（表裏両シート1、2）と、その間に挟まれたベース片3、4の端縁に形成されているからこの切欠き部10よりベース片のミシン切目11、12とこれに沿うように案内されて表裏シートがミシン切目とともに一直線状に切り裂かれていく。

【0016】このようにして天シール部が切離され開封されると、以後はチャック7の開閉操作で何回も繰り返えし開封と密封を行うことができる。

【0017】

【発明の効果】本発明は上記のように、袋体の開閉口端縁の内側に幅のある薄板帯状のベース片3、4と、このベース片の面に一体形成された雌雄嵌合のチャック体5、6とよりなるシールチャック7をベース片の各外面が夫々表シートと裏シートの各内面に個別に面接着するように取付けるとともに、袋体の開閉口に位置する側のベース片の面にチャック体5、6と平行又はほぼ平行にミシン切目11、12を相対して切設してなる構成としたことにより、袋体の開封に際しては、ベース片に切設されたミシン切目が筋道となって切り離されるのと同様にこれに沿うように表裏シートが一直線に引き裂かれ

て容易に開封できるものであり、ハサミやナイフ等を使用しなくても切り裂き口が一直線になってきれいに開封し、以後の反復の開封及び密封を容易に行うことが可能である。また袋体の側縁部に切欠き部が形成されているためにこれを案内としてミシン切目及びこれに沿うシート地の引き裂きを容易且つ確実に可能とすることができ、而も簡単な構成で安価に実施できる。

【0018】

【図面の簡単な説明】

10 【図1】従来の三方シール袋の正面図である。

【図2】図1におけるA-A線の拡大断面図である。

【図3】本発明の易開封機構を備えたチャック付き三方シール袋の実施例を示す正面図である。

【図4】図3におけるB-B線の拡大断面図である。

【図5】本発明のチャック付き三方シール袋の全体斜視図である。

【図6】チャックの一部平面図である。

【図7】図6におけるC-C線の断面図である。

【図8】本発明チャック付き袋の製造方法を示す一部傾斜図である。

【図9】図8におけるヒートシール部の拡大断面図である。

【符号の説明】

1、2 表裏シート

3、4 ベース片

5、6 チャック体

7 シールチャック

10 切欠き部

11、12 ミシン切目

20 袋体

a、b 左右側縁

c 開閉口端縁（天シール部）

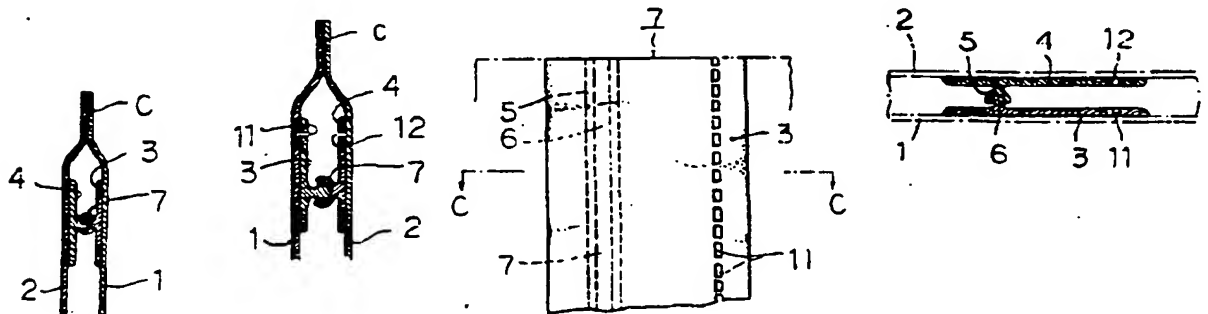
d 底部

【図2】

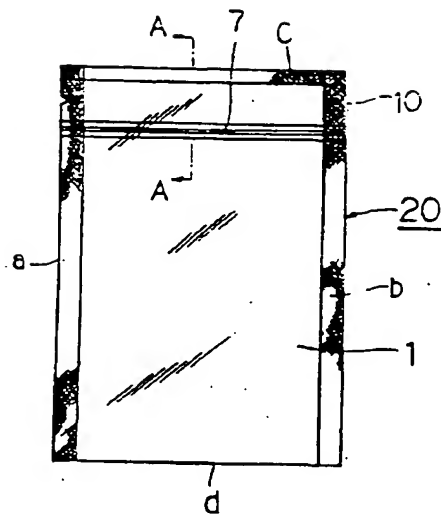
【図4】

【図6】

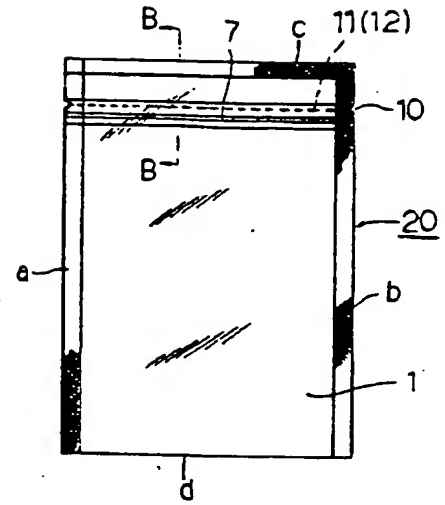
【図7】



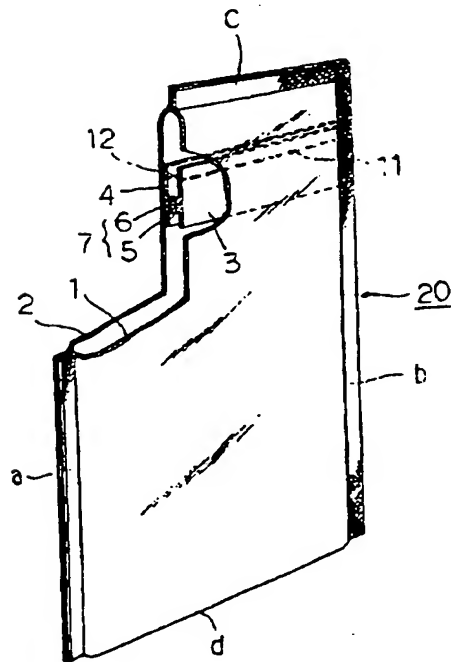
【図1】



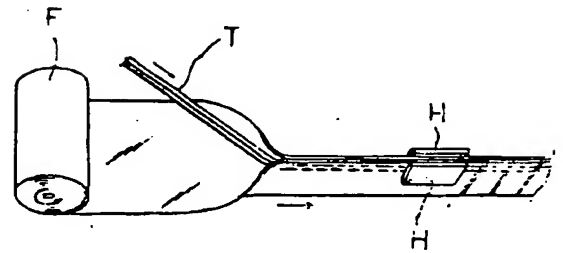
【図3】



【図5】



【図8】



【図9】

